

地域創造学環のフィールドワークってどんなことを学ぶの？

学内地域連携拠点フィールドの学生が各フィールドワークを巡ったレポート

フィールドワーク紀行

IN 清水港周辺フィールド

Vol.3



清水港周辺地域フィールド

清水港周辺地域フィールドワークでは、静岡市清水区の清水港周辺地域を中心に活動を行っています。2023年1月現在、1年生4人、2年生3人、3年生3人の計10人で、各自の特技・得意分野を活かした街の活性化を目指して活動に取り組んでいます。



清水港周辺地域フィールドとは

清水港は、静岡県のほぼ真ん中に位置し、日本一深い駿河湾に面しています。神戸港・長崎港と共に「日本三大美港」にも選ばれています。7世紀に開港されてから、戦国時代～江戸時代まで軍事上の要所として幕府から重用にされました。高度経済成長期には国内有数の輸出港として中部地方の経済を支え、日本経済にとって重要な役割を担ってきました。

清水港の周辺地域は歴史のある地域でもあります。特に明治維新後、富士の裾野の開墾や清水港の発展に尽力した清水次郎長の活躍が有名です。清水次郎長が生まれた場所として国の登録有形文化財に指定されている「清水次郎長生家」や、次郎長が開業した「末廣」は、現在でも地域の重要な歴史文化施設として残っています。また、「フェルケール博物館」もあり、清水港やその周辺地域の歴史を詳しく学ぶことができます。

このような歴史的施設の他にも、駿河湾で獲れた新鮮な海産物を味わうことができる「河岸の市」や、映画館や観覧車、「ちびまる子ちゃんランド」などの人気施設がある「清水エスパルスドリームプラザ」といった魅力的なスポットが数多く存在しています。



これまでの活動



清水港周辺地域も、自治会の少子高齢化や役員の担い手不足、地区の祭りなど歴史文化の継承の消滅、多彩な地域資源間の連携不足、空き地・空き家問題などの複合的な地域課題を抱えています。このような課題を解決するために、清水港周辺地域フィールドワークの学生たちは、これまで「まち歩き」や「魅力調査」を実施し、地域の現状や課題を発見してきました。また、地域の商店街や自治会、行政の方々との話し合いの場として「意見交換会」も実施しました。清水港周辺地域フィールドワークには、スポーツプロモーションコースの学生が多く所属することから、スポーツを活かしたまちづくりをテーマとして活動しています。

スマイル・ロゲイニング リポ



2022年12月11日（日）、清水港周辺地域フィールドワークの学生たちが企画したイベント「スマイル・ロゲイニング」が開催されました。ここからは、イベントの事前準備や当日の様子についてお伝えします！

清水港周辺地域もまた人口減少をはじめとして様々な地域課題を抱えています。また、コロナ禍で外出機会や地域住民の交流の機会も減ってしまいました。これらの課題を解決するためには、地域住民の活動の連携や情報提供など関係者同士のつながりを築くことが重要とされています。

こうしたつながりを構築するきっかけとして、清水港周辺地域フィールドワークの学生たちが企画したのが「スマイル・ロゲイニング」です。大学生や自治会、市民活動団体、NPOなどが連携しながら、楽しく地域を巡ることで、地域住民たちが多彩な地域資源を知り、子どもから高齢者まで世代を超えた多様な交流を図り、地域コミュニティの活性化に向けた機会をつくることを目的としています。

スマイル・ロゲイニングって??

「スマイル・ロゲイニング」※は、「地域資源マップ（別添マップ参考）」を頼りに、時間内に地域資源を回り、そこに付与されたポイントを集めて、ポイント数を競い合う取り組みです。ポイント地点の加点のしくみもあり、ゲーム性をもっています。地域の歴史や文化を学ぶほか、参加者親子や地域住民との交流、健康にもつながります。

※「ロゲイニング」とは、地図やコンパスを使って山野に設置されたチェックポイントを制限時間内に出来るだけ多く周り、そのチェックポイントに配された得点で競うニュースポーツです。

スマイル・ロゲイニング 事前準備の様子

イベントの開催に先立って、2022年12月1日（木）に実際に現地へ足を運んで、イベントの事前準備が行われました。当日のイベントが円滑に進行するように、本番と同じコースを巡り、当日の安全確保の仕方、クイズの出題方法、各ポイント地点で協力いただく方々との確認作業などの最終の調整を行っていました。

本番のコースの確認作業の終了後には、清水市民活動センターに集まり、実際にコースを歩いて明らかになった課題点などを洗い出し、解決策についての話し合いを行ったり、当日使用する物品づくりなどを行っていました。本番を目前に控えて、学生たちはとても気合いが入っていました。





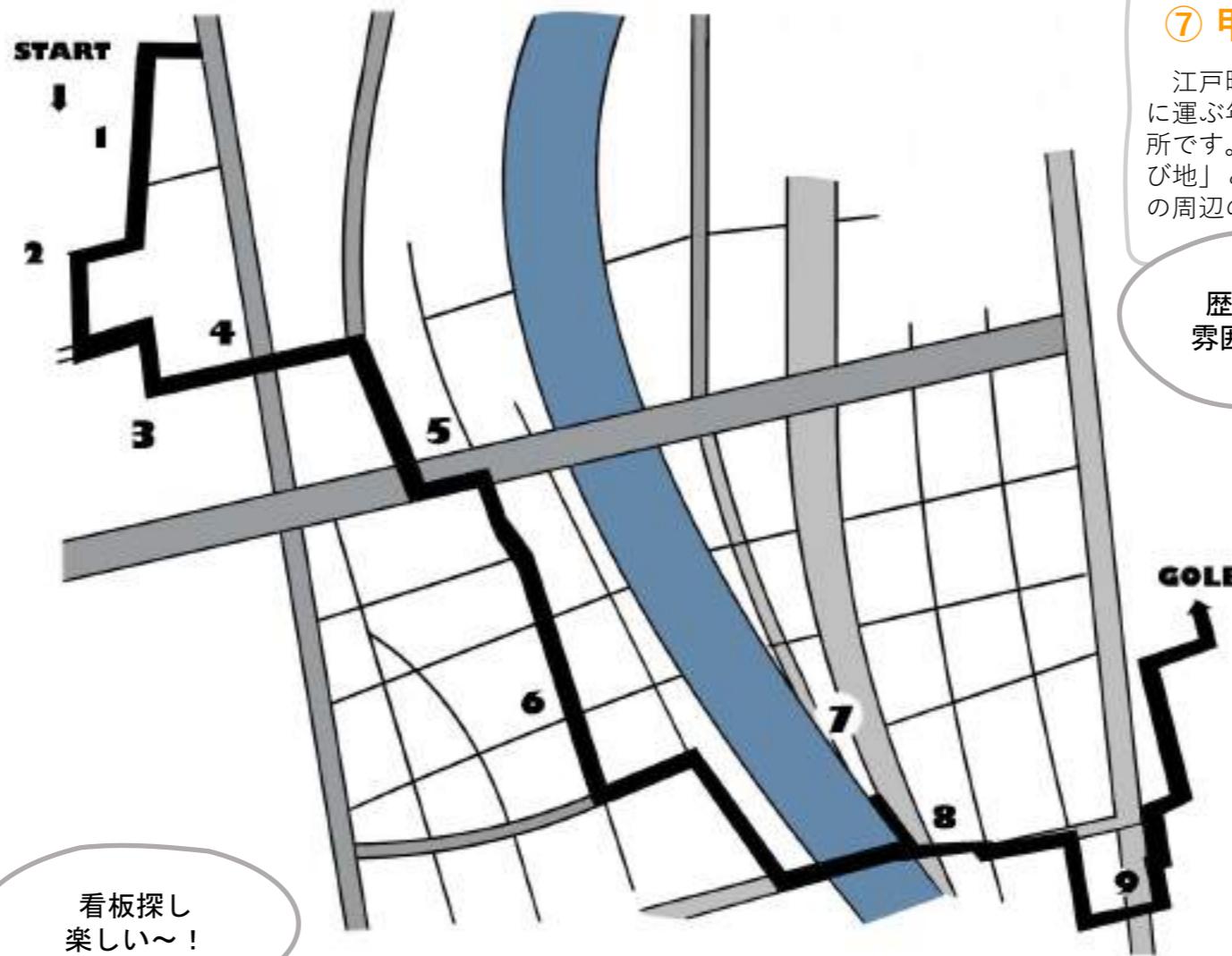
スマイル・ロゲイニング MAP

清水浜田小学校を出発し、歩いてゴールのドリームプラザを目指します！
当日のルート、道中の魅力あるスポットとともにお届けします。みなさんもこのマップを見ながらぜひ歩いてみてください！

① チャンチャン井戸



昔、旅の僧侶が“チャンチャン”と鉦を叩いて探し出したと伝わる井戸。この井戸の水はとても清らかな水だったとされ、「清水」の地名の語源のひとつとも伝えられています。



看板探し
楽しい～！

② 上清水八幡神のクスノキ

樹齢800年
以上！！



⑦ 甲州廻米置場跡

江戸時代、甲州から江戸や大坂に運ぶ年貢米を集め、保管した場所です。現在でも、山梨県の「飛び地」として、山梨県が米置場跡の周辺の土地を所有しています。



歴史的な
雰囲気！！

⑧ 末廣



⑨ フェルケール博物館



ここでみんなと
写真撮影

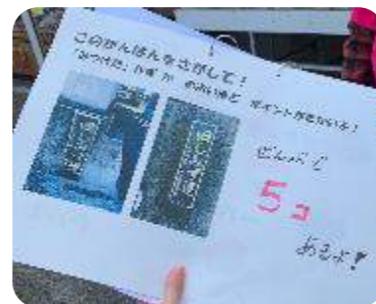


③ 禅叢寺の井戸

境内にある井戸からは、今も良質の水が湧いています。2022年9月の台風15号による断水の際には、地域住民に一般開放されました。

④ 旧しみず道（志ミづ道）

江戸時代、清水港と東海道を結ぶ物資の輸送路だった道です。現在、市街地を通る約4キロの道には「旧しみず道」の看板が設置されています。何枚の看板を見つけられるか、実際に「旧しみず道（志ミづ道）」を歩いてみよう！！



⑥ 石野さんの家の蔵

江戸時代、回船問屋の蔵として使われていました。その後、酒問屋となり、閉業後は、イベントなどで公開されています。ちなみに、この蔵は、伊豆地方で採れる「伊豆石」を使ってつくられています。



⑤ 花のナカムラの大壺

店頭にある大壺は、かつて神戸のとある工場の門柱として使われていました。1995年の阪神淡路大震災により大壺のひとつが壊れ、残りの無事な方の大壺を譲り受けました。



Locals & Students voices



地域の声

Q：スマイル・ロゲイニングについて

「スマイル・ロゲイニング」は、地域が明るく笑顔となるために企画したイベントです。ゼロから学生の皆さんと作り上げた初めてのイベントでした。初めてにしてはなかなか上手くいったのではないかと、と思っています。

Q：学生たちに期待すること

地域課題は地域だけでは解決できません。こうして学生やNPO、そして地域の人々が意見を出し合い、活動力などノウハウを共有することで形となるのだと考えています。学生の皆さんには活動力や私たちを巻き込む「引き出す力」があります。これからも学生の皆さんの新鮮な視点を期待しています。

今回のスマイル・ロゲイニングでは運営スタッフとして「清水おやこ劇場」の皆さんの協力もいただいています。「清水おやこ劇場」の皆さんは、「大人と子ども達の間に入る大学生の立場はとても重要である」とおっしゃっていました。

学生たちの声

Q：これから取り組みたい事

今年度は1年生に頼る部分が多かったです。来年度は自分たちが主体となって進めることになるので、しっかりと取り組み、イベントをより良くしていきたいです。

Q：清水への思い

個人的に清水おやこ劇場さんとの繋がりもあり、他のイベントにも呼ばれて参加していました。今後の活動でも地域活性化に貢献していきたいです。



取材後記

- ・学生が主体となって企画から運営まで行い、子ども達の笑顔がよく見えたイベントであった。取材をする中で、自分自身も清水について深く知ることができた。（金子）
- ・各チェックポイントごとに地域の魅力が隠されていた。（近藤）

静岡大学 地域創造学環 フィールドワーク紀行

令和5年7月31日発行

編集発行 静岡大学 地域創造学環 学内連携地域拠点フィールド

